

中小企業あきた

SEPTEMBER

9
2010



1 秋田県官公需受注対策協議会を設立! ... 1 ～地元中小企業者の官公需受注を促進～

2 平成23年度 本会助成事業の活用希望組合を募集! ... 2 実習生受入企業紹介 4 新卒者就職応援プロジェクト事業を実施中です!

3 中小企業の先進事例紹介 5 ～「中小企業白書2010年版」より～part2

○景況レポート7月分	7
○日本列島組合探検隊	8
○話題の広場	
中央会事業より	9
支援団体活動レポート	9
組合ティールーム	10

TOPICS



秋田県官公需受注対策協議会を設立!

～地元中小企業者の官公需受注を促進～



8月26日(木)、秋田市のアキタパークホテルにおいて「秋田県官公需受注対策協議会」の設立総会を開催しました。

同協議会は、県内中小企業への官公需の受注の促進を目的として、工事、物品、役務等に関する官公需の受注確保を目指している組合等を会員として25名で設立したものです。

設立総会では、本会の塩田会長の挨拶の後、議案の審議に入り、規約の制定や平成22年度事業計画など全ての議案が原案どおり承認・可決されました。また、役員選出では、10名の理事が選出され、理事会における互選の結果、会長に加藤憲成氏(秋建協同組合理事長)、副会長に大門一平氏(秋田県印刷工業組合理事長)が就任しました。



会長に就任した加藤憲成氏

本年度は、懇談会の開催等

により官公需に関する要望を取りまとめ、秋田県への直接要望や会員の要望活動の支援の他、中央会が開催する「知事との懇談会」等への要望を実施し、会員については引き続き募集していく予定です。

設立総会終了後は官公需対策懇談会を開催し、全国中小企業団体中央会政策推進部の長野孝昭副部长や秋田県出納局総務事務センター物品調達・支払管理班の田村巖班長、秋田県建設交通部建設管理課建設業班の田中等副主幹から官公需の発注状況等について説明を頂いた他、活発な意見交換が行われました。

懇談会では「地元企業が元気にならなければ、雇用や税収の面で大きな影響がある。行政には地元業者の育成という視点を持って頂きたい。」「予定価格があまりにも低すぎる。適正価格による発注をお願いしたい。」といった意見が出されました。

平成23年度 本会助成事業の活用希望組合を募集！

本会では、平成23年度に本会の助成事業を希望される会員組合等を下記のとおり募集いたします。
助成事業を希望される組合は、**9月17日(金)**までに中央会本部・各支所へお申し込みください。

なお、下記内容は平成22年度事業計画に基づき掲載しており、事業名や助成金額等が変更になる場合もございます。ご了承ください。

【Ⅰ】 組合が抱える課題等の解決を支援する事業

事業名	事業内容	補助額・自己負担額等
1 組合活力向上事業	<p>組合及び組合員企業が抱えている課題等について、解決を図り、組合活力の向上に結びつけるため、必要に応じて専門家とともに集中的な支援を行います。</p> <p>【平成22年度 対象組合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田県スポーツ用品商業協 ・ 秋田県酒造協 ・ 大館ケアサポート(企) ・ 秋田管工事業協 ・ 設計チーム木協 ・ 秋田県山林種苗協 ・ 秋田県印刷(工) ・ 協秋田市民市場 ・ 協秋田古紙回収協会 ・ 協横手卸センター ・ 秋田県自動車車体整備協 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助率 2/3 ・ 自己負担 1/3 ・ 事業費目安 300千円 (内100千円程度が実施組合等負担)
	<p>小企業者組合が組織の強化や事業の発展を目的に、研修会等を実施する場合に助成します。</p> <p>※ 平成22年度まで小企業者組合を対象に実施していた「組合研究集会」助成事業が平成23年度は廃止となります。このため代替事業として新設する予定です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助率 2/3 ・ 自己負担 1/3 ・ 事業費目安 105千円 (内35千円程度が実施組合等負担)

【Ⅱ】 人材養成を支援する事業

事業名	事業内容	補助額・自己負担額等
2 組合青年部研究会事業	<p>若手経営者、後継者で構成される青年部が研修を実施する場合に助成します。</p> <p>【平成22年度 対象組合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田県自動車整備(商工)青年部会 ・ 鹿角市花輪新町(商振)青年部 ・ 秋田県葬祭業協青年部 ・ 秋田県自動車解体処理協青年部 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助率 2/3 ・ 自己負担 1/3 ・ 事業費目安 300千円以内 (内100千円程度が実施組合等負担)

【Ⅲ】 経営革新やビジョンづくりを支援する事業

事業名	事業内容	補助額・自己負担額等
3 中小企業組合等活路開拓事業 (全国中央会事業)	<p>中小企業者が経済的・社会的環境の変化に対応するため、新たな活路の開拓等、単独では解決困難な諸問題、その他中小企業の発展に寄与するテーマ等について、組合等がこれを改善するための事業に対し支援を行います。</p> <p>〔事業テーマ〕</p> <p>①中小企業の経営基盤の強化 例：技術・機能の継承や後継者の育成、労働問題への対処、取引慣行の是正、事業の構造改善及び新たな事業分野への進出、新事業分野へ進出するために開発した新技術の需要喚起を図るための展示会等への出展、情報化の促進等</p> <p>②地域振興 例：地域の中心市街地の活性化、産地・地場産業の振興、伝統技術・技能の承継、農商工等連携による新商品開発及び開発した新商品の販路拡大のための展示会等への出展等</p> <p>③社会的要請への対応 例：CO₂の削減を図る新製品の販路拡大のための展示会等への出展、規制緩和等による経営環境の変化への対処、エネルギー環境問題への対処、BCP(緊急時企業存続計画)の対応・検討等、企業行動の適正化等</p> <p>④その他、中小企業が対応を迫られている問題 例：創業者支援等</p> <p>〔事業実施方法〕 次の各事業を適宜組み合わせで行います。</p> <p>① 調査事業 ② 研究事業 ③ ビジョン作成事業 ④ 成果普及講習会開催事業 ⑤ 試作・改造事業 ⑥ 実験・実用化試験事業 ⑦ 試供・求評事業 ⑧ 導入・改善事業 ⑨ 展示会等出展事業 ⑩ その他本事業の実施について必要とする事業</p>	<p>・補助率 6/10以内 ・自己負担 4/10 ・補助金限度額 12,175千円 (ただし、「展示会等出展事業」は1,200千円)</p>

※ 事業の組立てや進め方、あるいは掲載した事業以外で取り組みたい内容がございましたら、どんなご相談にでも応じますので、中央会本部・各支所にお気軽にご相談ください。

【申し込み・お問い合わせ先】

- 事業振興部 商業振興課・工業振興課 (☎ 018-863-8701)
- 大館支所 (☎ 0186-43-1644)
- 横手支所 (☎ 0182-32-0891)

／ 実習生受入企業紹介 ／

新卒者就職応援プロジェクト事業を実施中です！

本会では、中小企業が平成22年3月卒業の大学生・高校生などを実習生として受け入れインターンシップを実施する「新卒者就職応援プロジェクト事業」に取り組んでいます。（事業の詳細については、本会「商工あきた」4月号に掲載しています。）

今般、実習生の受入企業である「株式会社桑原」と「秋田印刷製本株式会社」をご紹介します。

株式会社桑原（卸売業・秋田市）

株式会社桑原（代表取締役会長 桑原功）は、包装資材・包装機械・物流資材を中心として幅広い商品を扱っています。今年は創業50年を迎え、マークやキャラクターをリニューアルしたほか、初めてのテレビコマーシャルを社員の出演で作成し、現在放送中です。

同社では、7月から1名の実習生を受け入れています。取締役総務部長の金俊博氏にお話を伺いました。

注文を受けた商品を卸す際には、ピッキング（倉庫から商品を選び出す）し、梱包しますが、実習生には、そのピッキングを指導しています。倉庫はスペースが広く3階まであり、1万種類以上の商品があるので、選び出すのは大変な作業です。しかし、実習生は覚えが早く、これまで1日も休まず熱心に実習しています。

3ヶ月間は倉庫で作業の仕方や商品名を覚えてもらい、その後は、受発注データの入力や、伝票の出力、電話の応対に進む予定です。お客様から電話で注文を受けるには商品の知識が必要です。種類が多いので、商品の名前と実物とが全て一致しないと注文を受けることも出荷することもできません。それが一番難しいと思います。

実習生が最初に来たとき、「挨拶ができない」というのが一番強い印象でした。実習生に限らず、最近の新卒者に

感じることは、礼儀作法等が身に付いていないということです。家庭での躰が薄れてきているように感じます。

実習生にも、最初は挨拶の仕方から教えました。倉庫での仕事は主にお母さんくらいの年代の方々がされているので、色々な話を聞き勉強になっていると思います。仕事を覚える他に、様々な方と接したり話をする中で学びながら、今後も各作業の習得に取り組んでくれることを期待しています。



【実習生のコメント】

1カ月を過ぎ、作業にはだいぶ慣れてきました。最初は大変でしたが、今は、やり甲斐を感じています。この後の実習も頑張っていきたいです。

秋田印刷製本株式会社（印刷業・秋田市）

秋田印刷製本（代表取締役社長 大門一平）は、フォーム印刷、商業印刷等のほか、各種の新商品開発も行っています。また、今年2月に農工商等連携事業計画の認定を受け、贈答用パッケージ入り「あきたこまち」の販売も行っています。

同社では、7月から2名の実習生を受け入れています。常務取締役の泉谷元久氏にお話を伺いました。

実習生には、受注データの入力や電話対応、印刷機の操作などを教えています。当初、面接に来た時と比べ、表情が明るくなり、ハキハキとした話し方変わってきました。今は、意欲を持って実習しています。

当社では、新規採用をする際の面接は厳しくしています。それは、途中で辞められると、企業としては痛手だからです。そういう意味では、この「新卒者就職応援プロジェクト事業」は有り難い制度です。何ヶ月かを通して、実習生は「この企業に合うかどうか」、企業は「一緒に長く仕事をしてもらえるかどうか」を実習期間中に見極めることができます。

今は、技術の伝承ができ、加えて管理能力をも持つ人材を必要としています。営業でも、注文を受けるだけでなく、デザインについてお客様の相談に乗ることが求められます。ですから、「自分はこれができる」という自分の「売り」を持っていないと、採用は難しくなっています。

企業では、一から教えている余裕はないのが実状です。

実習生の今後については、本人の意向を聞きながら、3カ月を過ぎたときに判断します。当社に入社してくれるようになったら、それまでの実習とは意識も違ってくるので、そこからは一層深い協力体制を組んでいきたいと考え、期待しています。

新卒者には、ハングリーであることを望みます。地を這ってでも頑張っていける人材になってほしい。企業は、一緒になって汗をかき、会社を良くして行こうという気持ちを持っている人を求めています。



【実習生のコメント】

会社では、印刷物を作るだけでなく色々な仕事があることを知りました。毎日、新しいことを覚えられるので楽しいです。実習に参加して良かったです。

中小企業庁が発表した「中小企業白書 2010 年版」では、中小企業がアジアを中心とする世界経済の発展を、自らの成長にどのように取り込んでいくのかを分析しています。

前月号に引き続き、本白書から中小企業の事例を抜粋してご紹介します。

■ 国外の成長機会の取り込み

中小企業は、国際化にあたって、情報、人材、資金等の課題を抱えており、こうした課題解決を支援していくことにより、国外の成長機会をより一層取り込むことができる。また、貿易の自由化は、中小企業にとってもメリットがあり、推進していくことが重要である。

和傘製造の技術を応用した照明器具をヨーロッパに輸出

株式会社日吉屋（京都市）

京都府京都市の株式会社日吉屋（従業員 5 名、資本金 1,000 万円）は 150 年超の伝統を有する和傘を製造する企業である。和傘の出荷量は、洋傘の浸透等により、年々減少する傾向にあり、同社の西堀耕太郎社長が就任した 1997 年には、同社の売上は年間 100 万円程度であった。

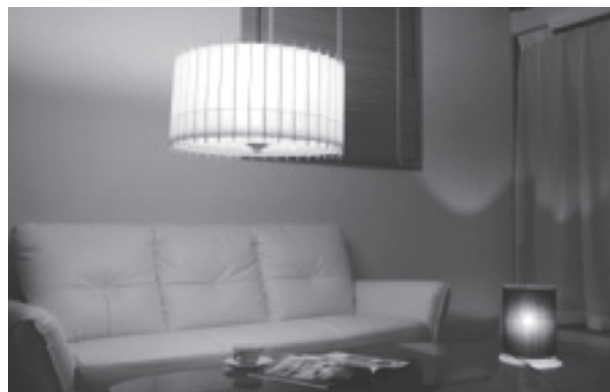
西堀社長は、和傘のインターネット販売を行うことで、和傘の売上を 10 倍以上に伸ばすことに成功した。しかし、和傘の販売を続けるだけでは、更なる売上の増加は望めないと考えていた。

そこで、「伝統は革新の連続である」という理念を掲げ、経験を活かしたものづくりの技術に、新しい発想を取り込み、時代に即した商品開発を行うことを検討し始めた。

同社長は、和傘の強みを分析し、「骨組みの美しさ」、「和紙及び和紙からの透過光の美しさ」、「折り畳み可能な構造」に着目し、和傘の技術を用いた照明器具を製作し、将来的には海外で販売したいと考え、知人の紹介によりデザイナーと共同で製品開発を行った。

その結果、和傘の骨組み及び和紙の美しさを活かし、折り畳み可能な構造を筒型にした照明器具「古都里 -KOTORI-」を開発。2008 年には、中小企業庁の「Japan ブランド育成事業」としてパリの展示会に出展。現地で注目を集め、注文が来るようになった。輸出開始時には、照明機器が日本と外国で電圧安全基準が異なることや、販売拡大のために現地の卸売業者が必要となるなど様々な課題に直面したが、現地の企業とうまく提携して課題を克服した。現在は更なる事業拡大に向けて全力で取り組んでいる。

西堀社長は、「和傘や伝統工芸品だから輸出できたわけでもなく、既存の商品の良いところを地道に見つめ直し、新しいアイデアを盛り込むことが新たな商品開発につながる。」と考えている。



モダンリビングにも合わせられる和風照明器具
「古都里 -KOTORI-」

地域資源、農産物を積極的に販売

有限会社津食のルネッサンス（会津若松市）

福島県会津若松市の有限会社津食のルネッサンス（従業員 10 名、資本金 300 万円）は、会津産コシヒカリの生産・販売やおにぎり専門店の運営、食に関する新しい技術の情報提供や提携支援、食と農業の生産事業等を行う企業である。

同社は、命をかけて茶の文化を継承した会津の武将蒲生氏郷にちなんで、会津産コシヒカリを「会津継承米氏郷」と称して、寿司やレストランの有名店と連携してブランド化を図り、国内外に積極的に販売している。既に香港の飲食店や台湾の小売店等海外への販売実績があり、将来的に欧米市場への展開を見込んで、パリやニューヨークで現地パートナーと情報交換及び連携を強化している。貿易会社や商談会等に頼らず、自らの人脈やネットワークを活かし、地元の飲食店や小売店と直接対話することで現地の情報を肌でとらえている。

同社の本田勝之助社長は、経済産業省の「にっぽん e 物産市プロジェクト」の地域プロデューサーとしても活躍しており、IT やマーケティングに明るく、実家の青果店、地元の料理店等、食や料理、農業地域に対する深い見識と情熱を持つ人々に支えられながら、絶妙な経営の舵取りをしている。海外市場の開拓も思いつきではなく、起業当初から世界を見据えており、詰め将棋のごとく自らの戦略を実行に移している。会津地域 17 市町村との連携に加え、「会津武家料理マップ（※）」の作成等の新たな構想を練りながら、地道な取組を重ねつつ、世界に通じるブランドとして総合的に農・食・地域を売り込むことに全精力を注いでいる。



会津継承米氏郷

（※）会津地域の質実剛健な素材を活かして、武家料理と会津漆器との連携を図るプロジェクト「OnespoonBUKE」に参加する人気レストランを紹介するもの。

安全・安心・高品質の抹茶を欧米や中国で販売

株式会社あいや（愛知県西尾市）

愛知県西尾市の株式会社あいや（従業員 75 名、資本金 3,000 万円）は、全国の抹茶の出荷量シェア約 45% を誇るトップ企業である。生産農家との共同研究や栽培管理、石臼挽き製造・品質管理を一貫して行い、高品質な抹茶を生産している。

同社は、クリーンルーム内で石臼により抹茶を挽き上げるなど、食品産業としての基本である安全・安心・信頼面での高い管理を実施している。製品の用途でも、茶道用抹茶のみならず、食品加工用抹茶にも注力し、製菓、冷菓、飲料用等、顧客の需要に合わせた様々な種類の抹茶を製造している。

同社は、アメリカ、ドイツ、中国に海外拠点を有し、世界に日本の茶文化を発信し、抹茶を積極的に販売する。特に、国内外から食品素材として注目を浴びつつある「オーガニック抹茶」は、日本有機栽培認証の「有機 JAS」、欧米有機栽培認証の「IMO」等の各種認証を取得し、多様化する食に伝統の安全・安心・高品質な抹茶を様々な形で提供し続けたいと考えている。



ヨーロッパブランド aiya THE TEA

景況レポート

(7月分・情報連絡員 80名)

回復感は弱いながらも、DI値は3カ月ぶりに上昇

【概況】7月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが8.8%（前月調査10.0%）、「悪化」が42.5%（同51.3%）で、業界全体のDI値は-33.7となり、前月調査と比較し7.6ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-21.9で前月調査（-43.7）に比べ21.8ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-41.6で前月調査（-39.6）に比べ2.0ポイント下回った。

製造業は、国産材の需要が増加した製材業が中心となって全体を押し上げた。非製造業は、3カ月連続でポイントが低下し、自動車販売業は登録車が13カ月ぶりで前年同月を下回った。全体としては安心材料に乏しく、回復感は弱いままである。

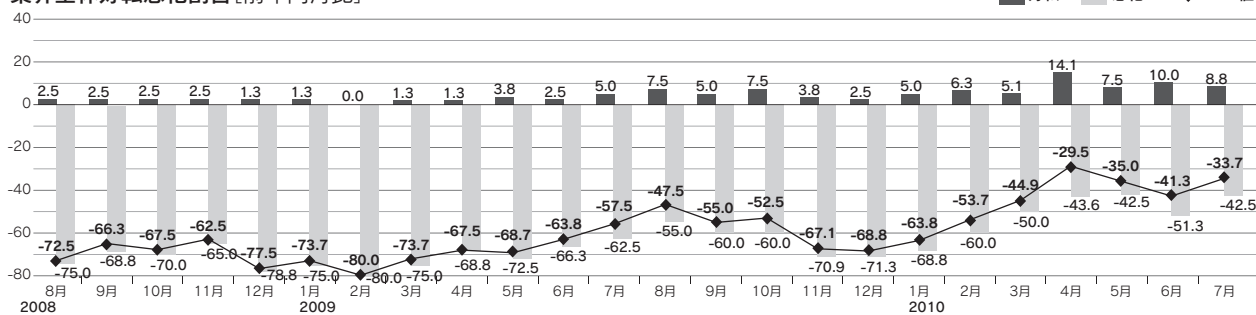
(回答数:80名 回答率:100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔
非製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔

【凡例】
 ☀ 快晴 30以上
 ☁ 晴れ 10以上 30未満
 ☁ 曇り △10以上 △30未満
 ☔ 雨 △30未満 △10未満
 ⚡ 雷雨 △30以下
 【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index（ティフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

麺類製造	気温の上昇により「冷やし物商品」の動きが若干感じられたが、先行きは不透明である。
清酒製造	6月分の清酒出荷量は、1,659 kLで、前年同月比98.1%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で105.3%、純米酒が91.4%、本醸造酒が89.6%、レギュラー酒が99.3%という状況となっている。
味噌・醤油	6月分の出荷量は、前年同月比で味噌が88.7%、醤油は91.1%で推移した。
木材・木製品	【一般製材】国産材の利用を促進する国の施策により、大手ハウスメーカーが外材から国産材に転換しているため、乾燥設備、集成材生産ともに操業度を上げている。 【素材生産】まだ回復といえる状況ではないが、合板用素材の価格は持ち直しつつある。受入量が増えているので今後に期待している。
漆器製造	10月開催の漆器の全国大会（ジャパンサミット）と、その後に川連塗りフェアがあるため、その準備で産地に活気があるように見受けられる。
自動車販売	7月の新車販売台数は、登録自動車が2,232台（前年同月比89.4%）、軽自動車が1,850台（同102.6%）で、合計4,082台（同94.9%）であった。6月に県の補助金が終了ということで予想以上の駆け込み需要があり、その反動で7月は前年度比マイナスとなった。
石油販売	ガソリン1ℓ当たり136円で前月比2円引き下げ、軽油1ℓ当たり114円で前月と変わらず、配達灯油は18ℓ1,463円で前月比5円の引き下げとなった。7月の後半から、夏商戦本番を控えて小売価格の過度な下げが見られた。
電機販売	先月に引き続き、エアコンの需要が伸びており、冷蔵庫も顕著に伸びている。今のところ安定的に推移しており、白物家電に関してはやや右肩上がりである。
商店街	【秋田市】家電販売のテレビとエアコンは好調だが、それ以外では厳しい状況になっている。駅前ではヨーカドーが閉店セールを実施しており、売上を伸ばしている。 【能代市】26日、27日に開催した夜店で23,000人と昨年以上の人出があり、来月の七夕も多くの人が出が予想される。
管工事	【秋田市】今年の資材の売上は、これまで前年同月比で微増が続いている。 【由利本荘市】お盆前に引き渡しをする工期の物件や、支払いを済ませる計画の公共工事があり、忙しいという会社が増えてきている。

日本列島 組合探検隊



新製品・新技術・地域資源を活かした産学官連携による継続的な新製品開発

～津山木工芸品事業協同組合（宮城県）～

◆背景と目的

宮城県の北東部に位置する旧津山町（現：登米市津山町）は典型的な林業の町である。町は地域資源である杉材の有効活用と雇用創出を図るため「木工芸の里づくり」を重点施策とし、昭和45年に木工芸の新たな担い手の育成を目的に「津山町木材加工研修施設」を建設し、東北工業大学との共同研究により間伐材を利用した矢羽集成材を開発、技術的に困難とされていた杉の木工芸品の製品化に成功した。その後、昭和57年に展示販売施設「クラフトショップもくもくハウス」を設置し、町の研修施設で学んだ木工職人12名により協同組合を設立、「もくもくハウス」を流通拠点に本格的な活動を開始した。

◆事業・活動の内容

杉の間伐材の有効活用を図るため、産（組合）・学（大学）・官（町、公設研究機関）の連携により開発した矢羽集成材は、共同生産事業によって組合員に提供され、きれいな矢羽模様の木目を生かした組合員の製品は、「もくもくハウス」を拠点に共同販売事業で流通されている。

町が地域資源の活用という明確な目的を持ち、補助事業等を有効に活用し大学から技術やデザイン面での高度な支援を受け、宮城県産業技術総合センターが商品化までを総合的に支援することにより、月に3

～4品は新製品が生まれており、皿等の小物から家具まで現在の販売アイテム数は800種類にも及ぶ。

◆成果

「もくもくハウス」をはじめ、産直野菜等販売施設、飲食店、地域情報発信施設による「もくもくランド」は道の駅となり、今や人口の60倍にあたる年間30万人もの観光客が訪れる地域の顔に成長した。

組合員は大学や公設試験機関からの支援により技術面・デザイン面の高度化が図られ、より売れる商品が製作でき、売上与創作意欲の増進に繋がっている。また、継続的な新製品の開発による需要喚起は、共同販売事業、共同生産事業の売上増に繋がっている。



「もくもくハウス」

【組合の概要】

所在地：登米市津山町横山字細屋26-1

電話：0225-69-2341

設立：昭和57年12月 組合員：16名

URL：http://moku2.biz/

事業の国際的展開 伝統技に創造性を加えて、世界市場を目指す静岡家具

～静岡県家具工業組合（静岡県）～

◆背景と目的

海外の安価な家具の流入、ライフスタイルの変化に伴う家具業界の低迷などにより組合員が減少している中、国際感覚のあるデザイナーを招聘し、静岡家具の技術力をベースにした製品開発やブランドコンセプトの構築により、海外市場でも通用する・売れる「静岡家具ブランド」の確立を目指している。

◆事業・活動の内容

国のJAPANブランド育成支援事業を活用し、ワーキング委員会を立ち上げ、静岡家具ブランドを確立するため、市場調査、ブランドコンセプトの確立、価値観の共有、ブランド名称やロゴの開発に取り組み、イタリア人デザイナーによるデザイン提案がなされ、それらについて、国際見本市でイメージ調査を実施した。加えて、情報発信のためのホームページの立ち上げや海外見本市の視察も実施した。その後、19アイテム25点の試作品を制作し、国際見本市への出展、セールスプロモーションツールの開発、ホームページのリニューアル、プレスリリースなどを通じて情報発信を強化した。実施上の工夫は、イタリア人デザイナーによる創造性を生かした製品開発、コーディネーターなどの専門家を活用したアク

ションプラン策定など戦略志向で、マーケティング手法とPDCAサイクル手法を展開していることが挙げられる。

◆成果

海外見本市等で繋がりができた企業との関係を強化していくこと、また、それをビジネスに繋げていくこと、製品の完成度を高めるために、多くの貴重なアドバイスなどを製品改良に活かしていくことなどで、静岡家具ブランドの確立を目指していく。

「静岡家具」を欧米や国内で支持されるブランドに成長させていくことが、静岡家具業界の活性化に繋がりがつあり、今後、これらの取り組みが結実していくこととなる。



出品作品

【組合の概要】

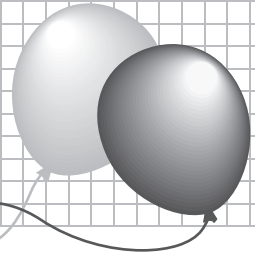
所在地：静岡市葵区駒形通7-8-21

電話：054-254-7201

設立：昭和45年11月 組合員：90名

URL：http://s-kagu.or.jp

話題の広場



中央会事業 より

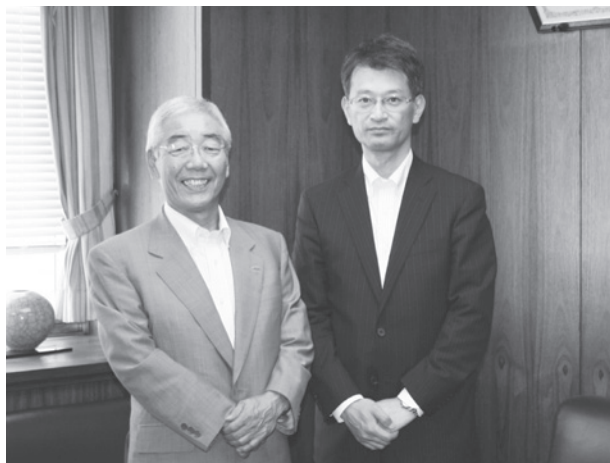
「首都圏攻略プロデュース事業」に 8事業所から応募がありました！

本会では、秋田県産の米粉用米による米粉を利用した新商品に対し、首都圏で売れる商品の開発から販売促進まで一貫して支援する「首都圏攻略プロデュース事業」の実施事業所を、6月28日から7月30日までの期間に公募したところ、8事業所から応募がありました。

この中から、2事業所の採択を決定するための審査会を8月27日(金)に開催しました。採択が決定した事業所や新商品の内容など詳しくは、10月号でご紹介します。

■豊国東北経済産業局長が本会を訪問

8月9日(月)、東北経済産業局の豊国浩治(とよくに こうじ)局長が就任挨拶のために本会を訪問し、本会の塩田会長と懇談しました。豊国局長は、本省では産業技術振興や貿易振興などに携わってこられました。塩田会長は、県内の産業や貿易の実態、コンテナ航路の活用などについて話し、豊国局長は「これまでの政策経験を活かし、東北の産業の振興等に努めたい。」と話しました。



豊国局長(右)と塩田会長

支援団体 活動レポート

平成22年度通常総会・事業成果報告会を開催 ～秋田県中小企業青年中央会～

7月27日(火)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県中小企業青年中央会(進藤政弘会長、32会員)の平成22年度通常総会が開催されました。

総会では、平成21年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成22年度事業計画、収支予算案が原案どおり満場一致で可決・承認されました。

また、役員改選が行われ、会長に協同組合秋田市民市場若手会の進藤政弘会長が再任されました。進藤会長は、今年6月から本中央会の理事も務めています。

総会終了後は、組合青年部研究会成果報告会が開催され、平成21年度に青年部研究会事業を活用した5青年部から報告が行われました。事業を活用して研修会や視察を実施したことで、「専門的な知識を身に付けられ非常に良かった」、「視察先での体験では衝撃と刺激を受けた」など、今後の取り組みにつながる成果が得られたこと等の報告がされました。

通常総会で挨拶する
進藤会長



報告会の様子

平成22年度通常総会・研修会を開催 ～秋田県異業種交流倶楽部(AIC)～

7月27日(火)、秋田市のホテルメトロポリタン秋

田において、秋田県異業種交流倶楽部（齊藤健悦会長、5 会員）の平成 22 年度通常総会及び研修会が開催されました。

総会では、平成 21 年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成 22 年度事業計画、収支予算案が原案どおり満場一致で可決・承認されました。

また、役員改選が行われ、会長に株式会社アイセス代表取締役齊藤健悦氏が再任されました。

総会終了後は、(財)あきた企業活性化センター事務局次長高橋好男氏を講師として、「企業の経営革新～革新の方向性の決定と公的支援制度の活用～」をテーマに研修会が開催されました。研修内容は、中小企業新事業活動促進法の承認企業になるためのポイントや承認後の支援についてなどで、高橋氏は「当センターに気軽に相談に来ていただき、公的支援制度を積極的に活用してほしい。」と話されました。



通常総会で挨拶する
齊藤会長



■高校生の県内就職にご協力ください！

～秋田県高等学校長協会、

秋田県高等学校 PTA 連合会～

7 月 26 日(月)、秋田県高等学校長協会の菊谷一会长をはじめ、秋田県高等学校 PTA 連合会の菅原広二会长などが秋田県商工会館を訪れ、本会など経済 5 団体の代表者へ高校生の県内就職促進について陳情を行いました。菊谷会長は、「来年 3 月卒業予定の高校生は、全就職希望者の半数強の生徒が県内での就職を希望している。高校生の就職環境は依然として厳しいものが予想されるが、皆さんの力を頂いてこの危機を乗り越えていきたい。」と述べ、採用枠の拡大と求人票の早期提出を要請しました。

本会の会員、組合員企業におかれましては、高校生の県内就職促進に特段のご協力をお願いいたします。



要請書を受け取る本会高橋専務理事（左）



事務局訪問！

組合ティールーム

能代山本生コンクリート協同組合

事務局長 山谷伸朗さん



—仕事の内容を教えてください。

組合に勤務して今年で 3 年目となり、主な仕事の内容は事務管理です。

今後も、組合員同士をつなぐパイプ役を果たしていきたいと思っています。

—今、熱中していることは何ですか？

本が大好きで、読書です。家には本棚が 5 つもあり、家族には「2 階が落ちる」と言われています。自己啓発本や小説、漫画など、何でも読みます。しかし、作家では松本清張さんが大好きです。最初に読んだのは「点と線」で、今ではもう何回も読んでいる愛読書です。ファンクラブにも入っていて、北九州市小倉にある「松本清張記念館」を訪れるのが目下の夢です。また、読む楽しみに加えて本を集めるのが好きで、古本屋などをよく回るのですが、同じ作品でもサイズや種類が違うものが出版されていると全部揃えたくくなります。色々なタイプの本を集めることは、楽しいですよ。

—座右の銘は何ですか？

「不撓不屈」です。この言葉がタイトルになっている高杉良さんの本（飯塚事件の飯塚毅税理士を書いた作品）を読んで、飯塚毅さんを再認識しました。どんな困難にもくじけない心を持ちたいものです。

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男
副理事長 宮崎真吾
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685



“企業の挑戦を応援します”

株式会社 北日本リース

考えてみませんか？経営の次にあるもの…
設備資金・生命保険・損害保険・資産形成・相続・事業承継等
ご相談をお気軽にどうぞ！！

秋田市高陽幸町8-17 TEL 018 (883) 1888

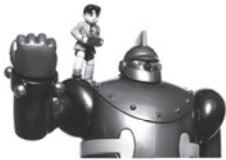
FAX 018 (883) 1822

E-mail : njl@cna.ne.jp

ホームページ : http://www.njl.jp/

秋田県信用保証協会にご相談下さい！

公的保証人として、国・県・市町村のバックアップにより、低利の事業資金が調達出来る保証制度を多数用意しておりますので、お気軽にご相談下さい。



©光プロダクション

- 本所(秋田県商工会館内) TEL 018(863)9011
- 秋田事業部 TEL 018(863)9017
- 大館支所 TEL 0186(49)2281
- 能代支所 TEL 0185(54)2377
- 本荘支所 TEL 0184(22)5330
- 大曲支所 TEL 0187(63)1181
- 横手・湯沢支所 TEL 0182(32)2361

秋田県信用保証協会



トワニー秋田

通商産業大臣認可50産第1784号
全日本葬祭業協同組合連合会加盟

秋田県葬祭業協同組合

〒014-0001 大仙市花館字常保寺91-3

TEL 0187-86-3530 FAX 0187-86-3531

ホームページ http://www.towany.com

葬祭・仏壇・仏具のご用命は
組合加盟店へどうぞ

いっしょに、エキマエ。

ファッション・生活雑貨 ご宿泊・ご宴会・お食事 おみやげ・お食事
AIS ホテルメトロポリタ秋田 Tópico



秋田ステーションビル株式会社

www.caoca.net/ www.metro-akita.jp/

〒010-8530 秋田市中通7丁目2番1号

TEL.018(831)-2225

www.castle-hotel.co.jp

私たちの商品は、「上質な時間」です。



AKITA Castle Hotel

秋田キャッスルホテル

秋田市中通一丁目3番5号 018-834-1141

郷土の話題から 世界のニュースまで

秋田新報



購読申し込み専用 ☎0120-13-1231

**秋田
春夏秋冬こぼれ話**

文◎小西一三
絵◎小西由紀子

カッパンプラン文庫

一冊の
待望の
ファン
冊!!

県内有名書店にて
絶賛発売中!!

秋田春夏秋冬こぼれ話
A5判 本文180頁
定価 **1,800円** (税込)

カッパンプラン文庫

秋田県の全戸配布広報紙「あきた新時代」に、96回にわたって連載されたコラム、「春夏秋冬こぼれ話」。秋田の「風物」「特産」「手仕事」「伝統」などを守り育ててきた地域の人々をいきいきと綴った、小西夫妻の傑作。「毎月楽しみで、いつも一番先に読みます」「暖かい絵と文が大好きで、切り取って保存しています」「ぜひ一冊の本にまとめてください」といった沢山の声にお応えしての待望の書籍化です。

お問い合わせ◎秋田活版印刷株式会社
〒011-0901 秋田市寺内字三千刈110-1 TEL.018-888-3500
E-mail:info@kappan.co.jp

新型定期預金

マイハーベスト

安全確実な定期は
あなたの味方です

●販売対象●
個人のお客様を対象とします。

●預入方法●

- (1) 預入方法 一括してお預け入れいただきます。
- (2) 預入金額 50万円以上
- (3) 預入単位 1円単位
- (4) 預入限度額 ありません。

お知らせ

平成20年10月から、個人の方なら“どなたでも”マイハーベスト等のご預金のお預け入れができるようになりました！

あなたのBANK

商工中金 秋田支店

〒010-0001 秋田市中通2-4-19 ☎018(833)8531